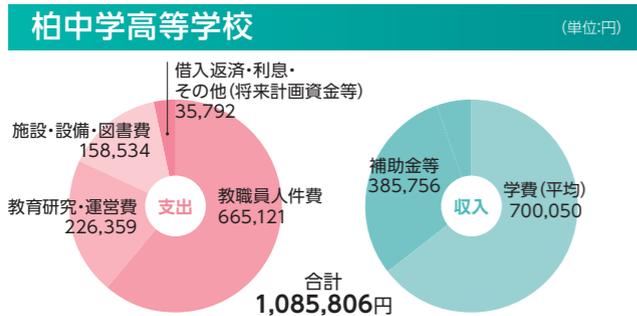
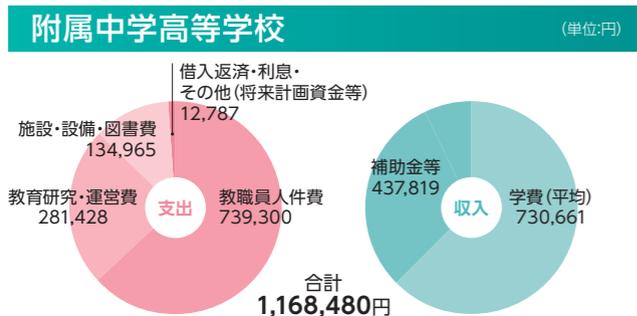
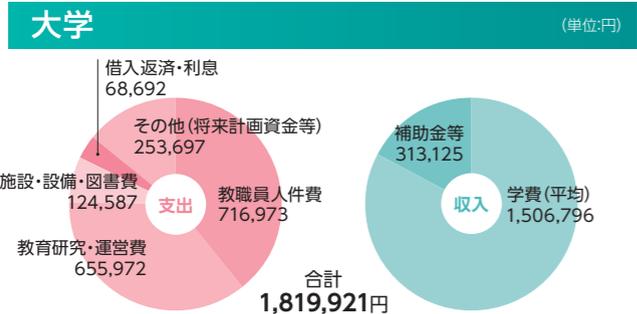


学生・生徒一人につき 1年間学ぶのにかかる経費

(2016年度決算より)

学生・生徒1人につき1年間学ぶのにかかる費用(支出)とこれを支える収入は下記の通りです。収入は、皆さんからの学費、国や地方公共団体等からの補助金によって賄われています。



教職員人件費	教職員に支払われる給料などです。
教育研究・運営費	教育や大学の運営のために使われるお金です。
借入金返済・利息	借りましたお金の返済に使われます。
施設・設備・その他(将来計画資金等)	施設の拡充や設備の購入等に使われます。また、将来のための資金の積立も含まれます。

ごあいさつ

MESSAGE



学校法人 芝浦工業大学
理事長 **五十嵐 久也**

芝浦工業大学は、創立100周年となる2027年に名実ともに“日本の理工系私学のトップ”、また“アジア工科系大学トップ10”となる目標を掲げています。そのためには、広く社会から評価を受ける必要があります。そして、本法人がどのような努力を積み重ねているかを世の中に見てもらわなければなりません。その一環として、ここに学校法人芝浦工業大学「決算のご報告」をもって本法人への更なるご理解とご支援を賜りたくご案内いたします。

創立90周年となる本年は、新設建築学部が豊洲キャンパスに第1期生を迎え、附属中学高等学校が期待を背負って新豊洲でスタートを切るなど大きな節目の年となりました。様々な分野でグローバル化や技術の高度化が進む現代社会において、社会は本学をどのような理由で求め評価しているのか、改めて建学の原点に立ち返り、さらなる教育の質向上を目指し教職協働で新たな挑戦に取り組んで参ります。

「理工系を目指すなら芝浦工大」「学生採用なら芝浦工大」と皆様からご評価いただき、自信を持ってお勧めいただける理工系私学のトップランナーを目指し努力して参ります。今後の芝浦工業大学にご注目いただき、ますますのご支援ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

積極的な情報公開に努めています。

本学のWEBサイトにおいても、財政状況を公開しています。事業報告書や予算書、財務計算書類等を掲載していますので、詳しくはこちらをご覧ください。



〒108-8548 東京都港区芝浦 3-9-14
TEL 03-6722-2920 (財務部ダイヤルイン)
HPアドレス <http://www.shibaura-it.ac.jp/>

2017.8 11,000

2016年度 決算の ご報告



トピックス

TOPICS

TOPIC 1 建築学部建築学科の開設

芝浦工業大学は、2017(平成29)年4月に「工学部 建築学科」「工学部 建築工学科」「デザイン工学部 デザイン工学科(建築・空間デザイン領域)」の2学科1領域を統合・再編し、「建築学部 建築学科」を開設しました。「芝浦建築の歴史と伝統」を継承し、未来につなげる新しい建築教育を展開し、人々の役に立ち喜びをもたらす建築に生涯情熱を持ち続け、豊かな感性と技術力を身につけた高い志を持つ建築の専門家を育成していきます。



TOPIC 2 国際理工学専攻、国際コースの開設

国際理工学専攻

大学院理工学研究科は、2017(平成29)年4月に国際理工学専攻を新たに開設しました。既存の理工学専攻を横断的に網羅し、グローバル化に向けた高度教養教育を行うことにより、高度な専門知識の習得とともに社会で必要とされる理工学に関する高度な知識と能力を与えることを目的としています。専門講義科目は英語で行われ、論文作成や発表もすべて英語を基本とします。さらに日本人学生は最低3ヶ月程度の協定校への海外留学が、外国人学生は国内でのインターンシップやグローバルPBLの参加が必修となっています。

システム理工学部国際コース

システム理工学部の電子情報システム学科、機械制御システム学科、生命科学科(生命医工学コース)に、2017(平成29)年4月より国際コースを新たに開設しました。これまで取り組んできた分野横断型の学びに加え、1セメスター(6ヶ月程度)以上の海外協定大学への留学、卒業単位の1/4以上を英語による学修で取得、英語による総合研究(卒業研究)の実施など先進的なカリキュラムでグローバル人材の育成を目指します。

TOPIC 3 附属中学高等学校 他に例を見ない中学男子校・高校共学校の試み

附属中学高等学校は、2017(平成29)年4月の新豊洲への移転を機に、高校から1クラス的女子生徒を受け入れました。将来、芝浦工業大学への進学を目指す理工系志望の生徒として、進路を明示しながら理系女子を募集するのは他の学校ではできない本校ならではの試みです。併せて、高校入学生(女子だけでなく男子も同数募集)のための理科実験やものづくり体験を織り込んだ独自のカリキュラムも準備しました。さらに、入試、行事、クラブ活動、学園生活のほか、制服やロゴマークなどをすべてを刷新。校名も芝浦工業大学中学高等学校から芝浦工業大学附属中学高等学校へ変更し、新たな学校へと生まれ変わりました。



2016年度の財政状況

学校法人芝浦工業大学の2016年度の事業活動収入合計は197億5千万円となりました。そのうち約73%にあたる144億1千万円が授業料や入学料などの学生生徒等納付金であり、続いて約11.6%を占める22億8千万円が国や地方自治体からの補助金、そして約5.4%の10億7千万円が入学検定料などの手数料収入でした。

一方、事業活動支出と基本金組入額の合計は225億2千万円でした。内訳は、教員や職員の人件費が83億5千万円、教育研究活動の充実のための費用や学生生徒のキャンパスライフを応援する費用などで構成される教育研究経費が77億5千万円などとなっています。

また、学校法人が教育研究活動を永続的に維持していくために必要となる校地、校舎、機器備品、図書などの資産の取得にあてた金額もしくはあてる予定金額(基本金組入額)は事業活動収入の約22.7%にあたる44億9千万円となりました。各キャンパスで経年劣化に対応した設備更新や利便性・安全性向上を目的とした施設改修を実施したほか、建築学部製図室の新築や中学高等学校の新校舎建設などの事業にも取り組みました。

私学を取り巻く環境は一層厳しさを増していますが、経費の削減などの経営努力をしつつ、教育研究環境の更なる向上に向けたキャンパス整備や諸設備の充実に努めています。

収入

(単位:百万円)

事業活動収入 ▶ 19,746



学費	正しくは「学生生徒等納付金」。授業料だけでなく、入学料や維持料なども含まれます。
手数料	入学検定料や証明書発行手数料など。大半は入学検定料です。
寄付金	現金のみならず、物品を受け入れる「現物寄付」も含まれます。
補助金	国庫および地方公共団体より交付される補助金。経常的経費に対する一般補助や、採択制の特別補助があります。
その他	受取利息・配当金収入や付随事業収入(公開講座受講料、受託事業収入、厚生施設利用料など)および雑収入。

支出

(単位:百万円)

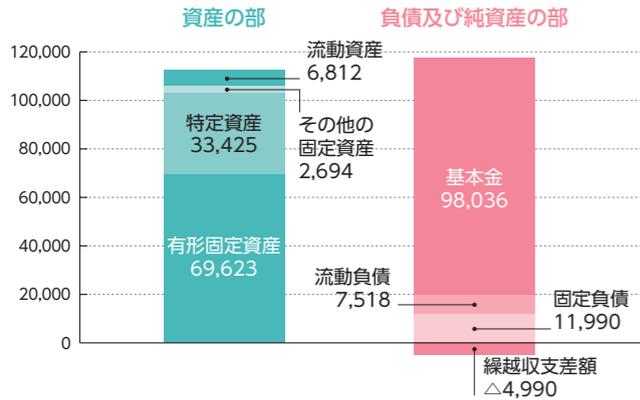
事業活動支出+基本金組入額 ▶ 22,519



人件費	教職員及び役員の人件費。退職金なども含まれます。
教育研究経費	教育研究活動のために直接支出される費用や教育研究環境の維持・整備に関する費用。学生生徒のキャンパスライフを応援する費用も含まれています。
管理経費	教育研究経費以外の費用。学生募集経費などが含まれます。
その他	借入金等の利息や資産処分時の廃棄差額(除却損)など。
基本金組入額	学校法人が、諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべき資金を組み入れた金額。

貸借対照表

(単位:百万円)

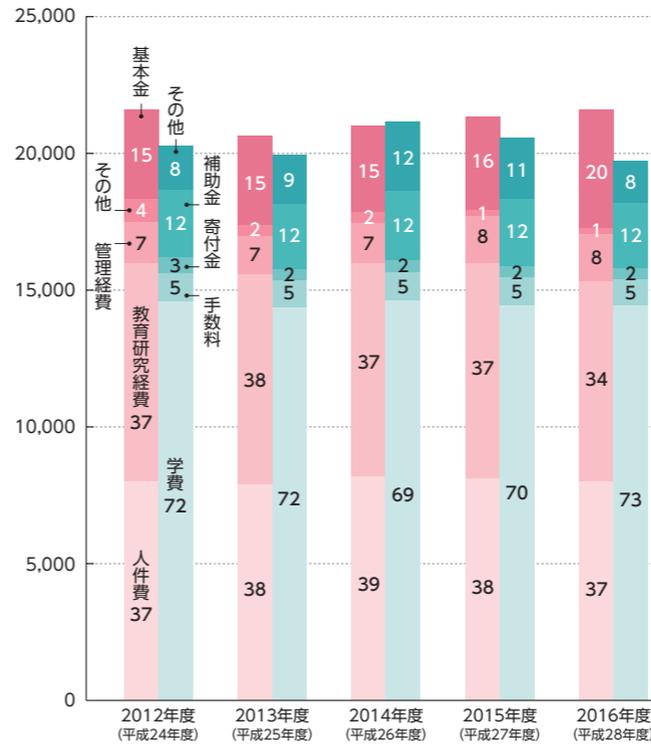


有形固定資産	土地、建物、機器備品、図書など。
特定資産	各種引当特定資産
その他の固定資産	敷金・保証金、長期貸付金など。
流動資産	現金・預金、未収入金など。
固定負債	長期借入金、退職給与引当金など。
流動負債	短期借入金、前受金、未払金など。
基本金	学校法人が、諸活動の計画に基づき必要な資産を、継続的に保持するために維持すべき資産や資金の額。

経年比較で見る 学校法人芝浦工業大学

収入・支出の推移5年間のグラフ

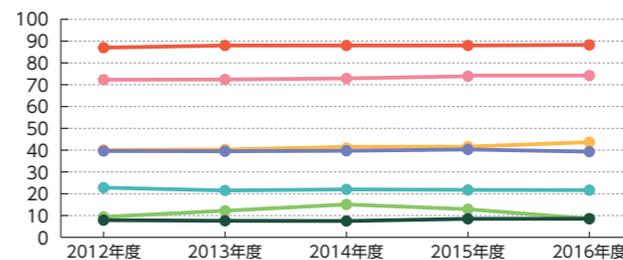
左グラフ:事業活動支出+基本金 右グラフ:事業活動収入



*グラフ軸は金額(百万円)を示し、グラフの中の数字は構成比(%)を示します。

主な財務比率

(単位:%)



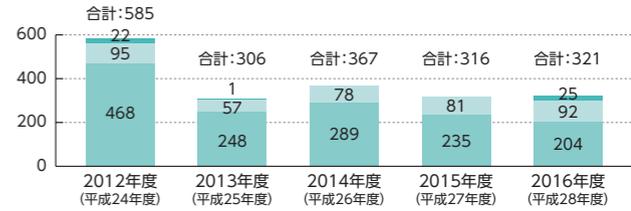
● 事業活動収支差額比率	(事業活動収入-事業活動支出) / 事業活動収入
● 学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 / (教育活動収入計+教育活動外収入計)
● 人件費比率	人件費 / (教育活動収入計+教育活動外収入計)
● 教育研究経費比率	教育研究経費 / (教育活動収入計+教育活動外収入計)
● 管理経費比率	管理経費 / (教育活動収入計+教育活動外収入計)
● 負債比率	総負債 / 純資産
● 基本金比率	基本金 / 基本金要組入額

外部資金の獲得状況

寄付金

(単位:百万円)
(現物寄付を除く)

■ 周年記念事業寄付
■ 研究奨励寄付
■ 上記以外の使途特定寄付

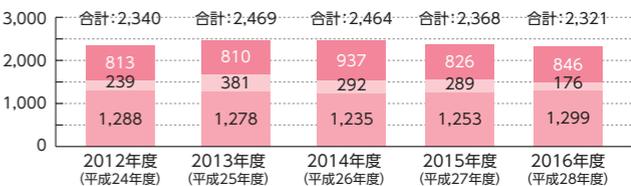


本法人では、教育研究環境整備充実のため、毎年在学生のご父母や卒業生などに寄付のお願いをしております。2016年度も継続的に募集を実施し、個人、法人ならびに校友会・後援会や柏中高・附属中高各PTAなどから、計823件、金額で3億2千万円の寄付を頂戴しました。本法人では、これらのご寄付を原資として、奨学金や将来計画基金を拡充し教育研究環境の一層の充実を図り、優秀な人材を育成することに努めてまいります。本法人の事業にご賛同いただき、多くの皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

補助金

(単位:百万円)

■ 私立大学等経常費補助金
■ その他国庫補助金
■ 地方公共団体補助金



本法人では、設置学校ごとに国や地方公共団体から補助金を受けています。国の補助金は主に大学対象、地方公共団体の補助金は主に中学・高校を対象にしています。特に2016年度は大学において、経常費補助金に加えて、国が重点的に支援するスーパーグローバル大学等事業、地(知)の拠点大学による地方創生推進事業などの特別補助金を獲得することができました。